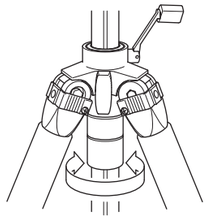
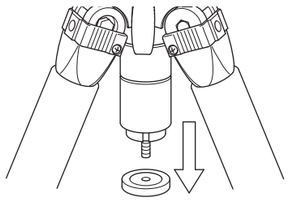
エレベーターカバーパイプ

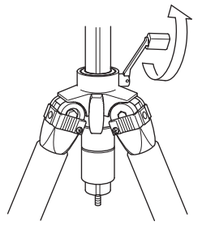


エレベーターカバーパイプの締め具合で、エレベーターの上下かたさが調節できます。

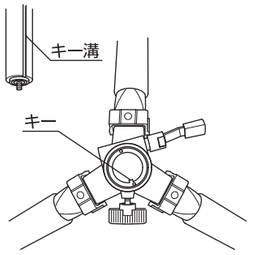
エレベーターの交換



付属のローポジション雲台受と交換することでより低い位置での撮影が可能になります。
1. 下部座金をゆるめて外します。
2. エレベーターカバーパイプをゆるめます。

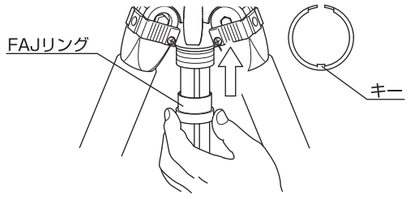


3. クランクハンドルを操作してエレベーターを上に抜き取ります。
4. ローポジション雲台受の下部座金を外します。



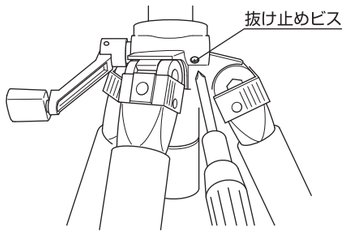
5. 本体部の中のキーとエレベーターのキー溝の方向を一致させます。
6. クランクを軽く回し、歯のかみ合いを確かめてから下まで降ろして行き、下部座金を取り付けます。

FAJリングの取り付け



もし、交換時にFAJリングが外れたら次のように組み込んでください。
1. エレベーターカバーパイプを左に回し下に抜き取ってください。
2. FAJリングのキーとエレベーターのキー溝を一致させて本体の中へ厚みの薄い方からさしこみます。
3. エレベーターカバーパイプをもと通りにねじ込みます。

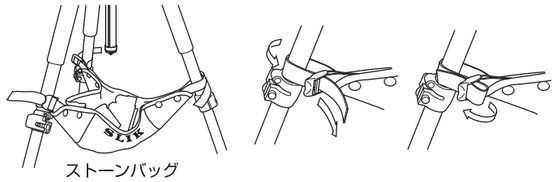
クランクハンドル位置合わせ



エレベーター交換後のクランクハンドルの収納位置を修正する時は、抜け止めビスをゆるめてクランクハンドルを引き抜いて再度セットしてください。
クランクハンドルが抜け落ちないようにビスをしっかりと締め込んでください。

付属品

⚠ 注意



ストーンバッグ

アクセサリーなどを入れて、三脚全体を重くし安定性を高めます。
図のようにベルトを通して取り付けてください。
脚ロックレバー部に引っかけて、下へのずり落ちを防いでください。
物を入れる前にバッグの固定を確認してください。
エレベーターの急な落下により、内容物にあたることがありますのでご注意ください。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービス

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

製品に関するお問い合わせ
ケンコー・トキナー・コニカミノルタお客様センター
Tel. 0120-162-414

修理に関するお問い合わせ
ケンコー・トキナー・コニカミノルタカメラ修理相談窓口
Tel. 0120-975-124

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー
〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19

製造元
スリック株式会社
〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

©2013 SLIK CORPORATION

SLIK®

カーボンマスター 924 FL-SP

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。
お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

⃠ 禁止 このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

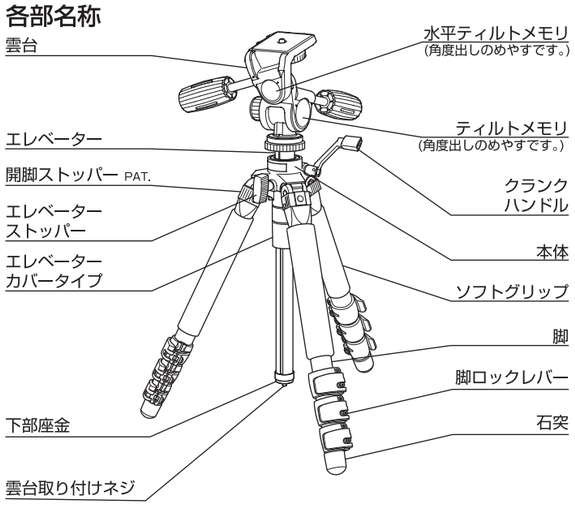
P979

仕様

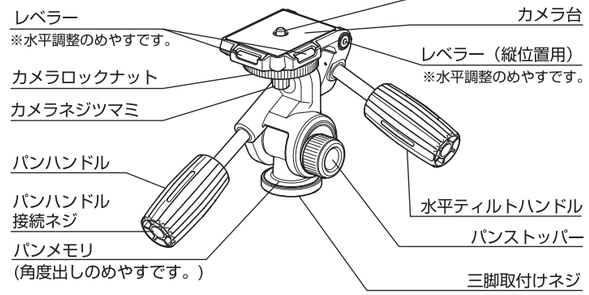
縮長	580 mm
全高	1,420 mm
EVスライド	265 mm
質量	2,870 g

三脚ケース付
ストーンバッグ付

各部名称



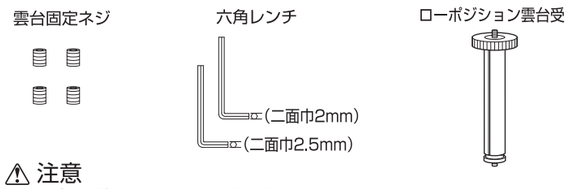
雲台



⃠禁止
パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

※三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

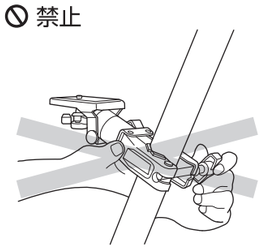
付属品



⚠ 注意
ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだらお買い求めの販売店またはケンコー・トキナー・コニカミノルタカメラ修理相談窓口へご依頼ください。(無料修理保証の対象外です。)
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

クランプヘッド

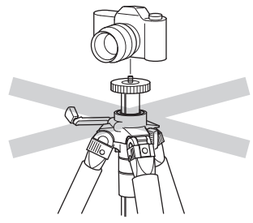
⃠ 禁止



別売のクランプヘッドはカーボン三脚に使用しないでください。
パイプが破損し危険です。

雲台取付けネジ

⃠ 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
雲台などを介してお取り付けください。

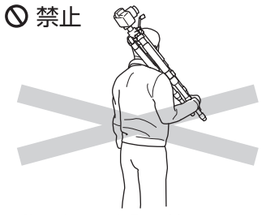
搭載する機材

⃠ 禁止

この製品は、5kg位までの機材を載せるように作られています。
これ以上の機材は載せないでください。
また、5kg以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

持ち運びのとき

⃠ 禁止



三脚にカメラを取り付けたままの移動や、パンハンドルだけを持っての移動や運搬は、思わぬ事故を起こしますので行わないでください。
移動や運搬をする際には、上記に従い行ってください。

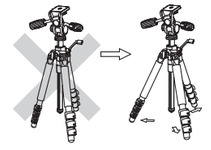
衝撃のあったとき

⚠ 注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認ください。
傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。
カーボン繊維が出ている場合はケガをするおそれがあります。
直接ふれないようご注意ください。

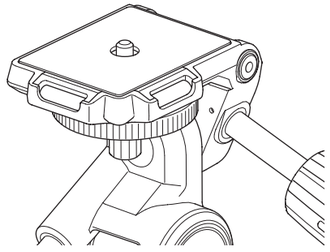
機材の取り付けとセットアップ

⚠注意



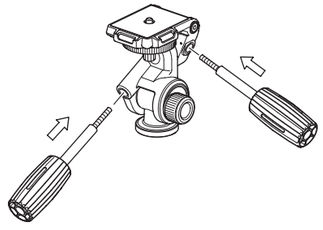
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を十分に開いてください。
脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

レベラー



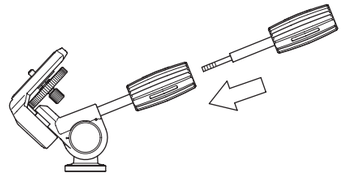
カメラ台のレベラーを使用すると、水平出しのめやすとすることができます。

パンハンドルの取り付け



雲台に2本のハンドルを取り付けます。ハンドルに長・短はありません。どちらにも取付けることができます。

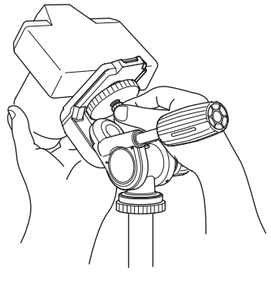
収納



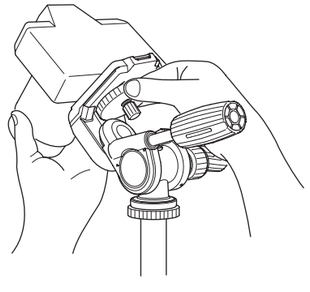
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のパンハンドル接続ネジにねじ込んでください。
コンパクトに収納できます。

カメラの取り付け

ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

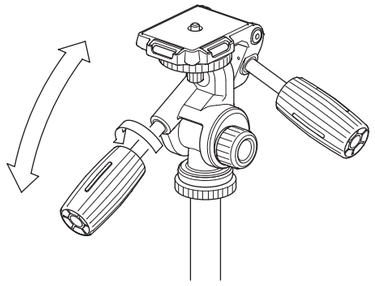


カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミでカメラネジを、ねじ込みます。

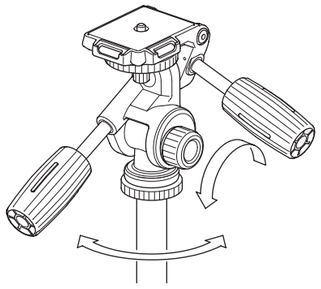


次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

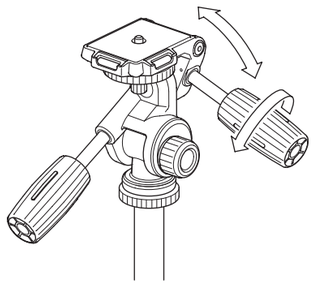
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

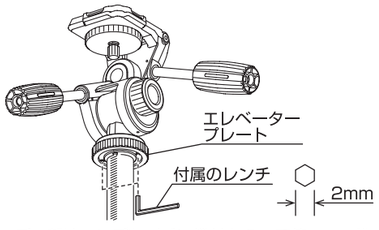


パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。



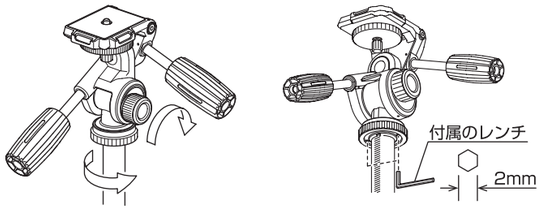
水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

雲台固定ネジ



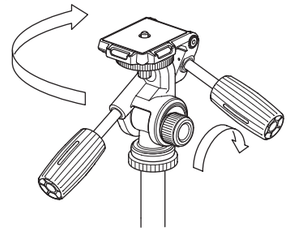
フィールドスコープや望遠レンズなど重い機材をのせて使用する際は、雲台と三脚がゆるまないように、付属の雲台固定ネジを使用してください。
エレベータープレートの裏側から雲台固定ネジを入れ（2ケ所）、付属の六角レンチ(2面巾2mm)で締め付けます。

雲台の取り外し



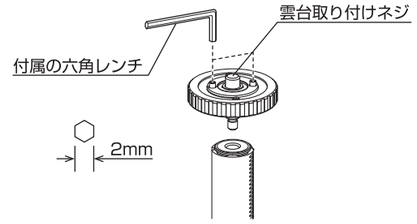
始めに、脚部のエレベーターを10mm程度上げて、エレベーターストッパーでしっかりと固定します。次に雲台のパンストッパーをしっかりと締め込みます。このとき雲台固定ネジ2本を使用している場合は、必ず付属の六角レンチ(2面巾2mm)で緩めてください。（出荷時、ネジはエレベータープレートについていません）パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を回します。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



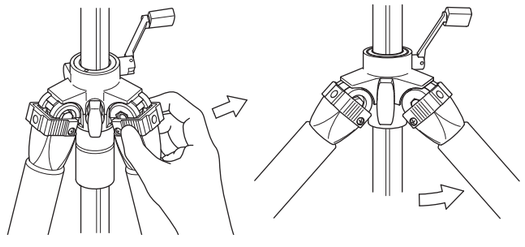
雲台(アクセサリー)と三脚のネジを合わせます。
雲台を時計まわりに止まるまで回します。
パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにねじ込みます。
パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

雲台取り付けネジを小ネジにする



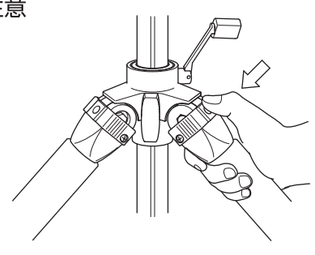
U1/4の小ネジにしたいときはエレベータープレートを外して取り付けネジを反転してください。
エレベータープレート上部の止めネジ(2ケ所)を付属の六角レンチ(2面巾2mm)でゆるめるとエレベータープレートは外せるようになります。

開脚角を変える



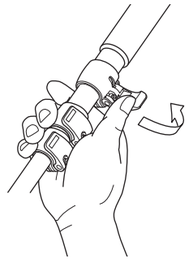
標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角度（ミドル、ローポジション）がえらべます。

⚠ 注意



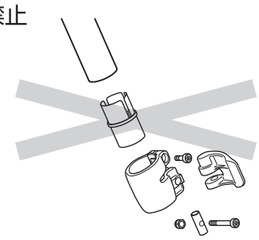
使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

脚の伸縮



脚ロックレバーを開くとパイプは伸縮できます。
希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。

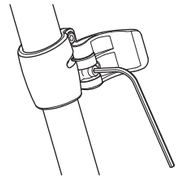
⃠ 禁止



レバーを外して分解することは事故の原因になるので行わないでください。
万一、外したときはご自身で修理せず、販売店またはケンコー・トキナー・コニカミノルタカメラ修理相談窓口へ修理をご依頼ください。

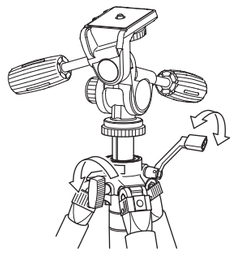
レバーの調整方法

⚠ 注意

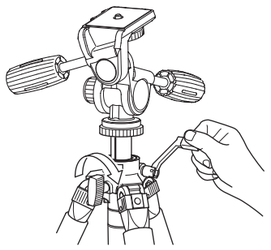


脚の固定力がゆるくなったときは調整することができます。
脚ロックレバーを開き、六角穴に付属の六角レンチ(2面巾2.5mm)を差し込んで時計まわりに回して調整します。
このとき、締め込み過ぎないように注意してください。破損や故障の恐れがあります。

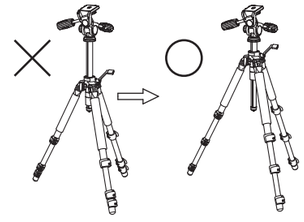
エレベーターの操作



エレベーターストッパーをゆるめてクランクハンドルを操作するとエレベーターは上下します。



クランクハンドルから手を離す前にストッパーを締めてください。エレベーターの不用意な落下をふせげます。



エレベーターはなるべく高さ調節用として2/3くらいまでの高さでお使いください。一杯に伸ばすとゆれが出やすくなります。